



TOTTORI RYOKUSUI DAYORI とっとり 緑推だより

NO.22

2008.7発行

社団法人 鳥取県緑化推進委員会

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地鳥取県農林水産部森林保全課内

TEL 0857-26-7416 FAX 0857-21-6215

E-mail:info@tottori-green.or.jp URL:<http://www.tottori-green.or.jp>

会員の現況平成20年1月末現在 正会員116名 贊助会員99名 特別会員1名

第12回通常総会の開催

とき 平成20年2月14日(木)

ところ 白兎会館「らいちょうの間」

第12回通常総会を、正会員116名のうち103名（実出席43名、委任状60名）の参加を得て開催しました。

鉄永幸紀理事長のあいさつに続いて、平成19年度に「緑の募金」に高額の寄附をいただいた鳥取三洋電機株式会社に理事長からの感謝状を贈呈しました。

議長に鳥取県西部森林組合長生田公良氏を選出し、議事録署名人に個人会員平尾達治、個人会員新見盛也氏を選任したのち、第1号議案平成19年度事業報告及び収支決算、第2号議案平成20年度事業計画(案)及び収支予算(案)、第3号議案定款の一部変更について、第4号議案諸規程の一部変更等について、第5号議案要綱の一部変更に係る委任について、第6号議案研修の森（分収林）の処分について、第7号議案役員（監事）の選任について、第8号議案会員の入会について審議され、いずれも提案どおり可決承認されました。

今後とも、外部有識者等の意見をお聞きしながら、一層効率的、かつ適正な事業の実施に努めて参りますので、皆様の温かいご理解・ご協力をお願いします。



緑の募金高額寄附者への感謝状贈呈



議事

役員の皆さん

(2月14日現在)

理事長	鉄永 幸紀	県議会議長	理事	馬場 俊明	日本海テレビ会長
副理事長	河原 正彦	県農林水産部長	理事	中永 廣樹	県教育委員会教育長
理事	長井勇喜夫	県銀行協会会长	理事	高力 修一	県建設業協会会长
理事	伊藤美都夫	県漁業協同組合組合長	理事	森下 博	県山林樹苗協同組合理事長
理事	井上 耐子	県連合婦人会会长	理事	山根 英明	県森林組合連合会会长
理事	竹内 功	県市長会会长	理事	吉岡 利固	新日本海新聞社社主
理事	榎本 武利	県町村会会长	監事	井上 幹雄	造園建設業协会会长
理事	坂根 國之	県農業協同組合中央会会长	監事	大家 繁博	県椎茸生産組合連合会会长

任期：平成21年2月20日

平成20年度 緑の募金

募金運動期間 春期 平成20年3月25日(火)～5月31日(土)

秋期 平成20年9月1日(月)～10月31日(金)

募金の目標額 2,800万円

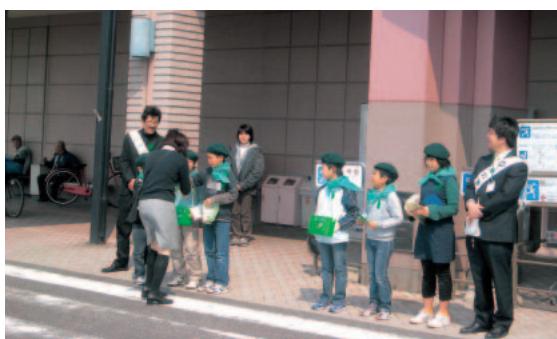
森林や緑は、二酸化炭素吸収源として地球温暖化の防止に役立っています。

森林や緑を守り育てて、安全で住みよい循環型社会を実現するため、緑の募金運動に一人でも多くの皆様の温かいご協力をお願いします。

街頭キャンペーン

緑の募金運動を盛り上げるため、運動初日の3月25日には、ジャスコ鳥取北店前では鉄永理事長を始め、鳥取県緑化推進委員会鳥取市支部、鳥取県農林水産部森林保全課、鳥取県東部総合事務所農林局、賀露おやじの会、賀露小学校みどりの少年団など、ジャスコ日吉津店の前では石日吉津村長を始め、日吉津村議会議長、西部総合事務所農林局長、成実小学校みどりの少年団などの方々の御協力により緑の募金街頭キャンペーンを行い、買い物客の皆様に緑の募金への協力を呼びかけていただきました。

そのほか、鳥取市立南中学校、智頭町立山郷小学校みどりの少年団、倉吉市立北谷小学校みどりの少年団、倉吉農業高等学校、倉吉北高等学校、米子市内のボイスカウト、米子北高JRC部などが運動初日から4月上旬にかけて、それぞれの地域で街頭募金活動をされました。



ジャスコ鳥取北店

緑の募金の贈呈式

5月22日県議会議長室で「緑の募金贈呈式」が行われました。

コカコーラ ウエスト スポーツパーク園長 青木善美様より3月22日・24日に当公園で開催された「緑の感謝祭」の収益金の一部を、また千代三洋工業（株）社長 野津国朝様より会社で取り組んだ「緑の募金」の浄財を当委員会理事長 鉄永幸紀に御寄付頂きました。

この浄財は、緑の募金の趣旨にのっとり大切に活用させて頂きます。

ありがとうございました。



千代三洋工業（株）より



コカコーラ ウエストスポーツパークより

緑と水の森林基金事業

ローソン緑の募金を活用して 地域住民と子どもたちに憩いと学習の場が完成しました。

■憩いの空間（学校環境緑化モデル事業）

鳥取市立国府東小学校PTA 会長 土 橋 裕 一



平成19年11月の完成式典から半年以上経過し、校庭に植えたソメイヨシノや芝も青々と育ってきました。一番人気の築山では子どもたちが連日、駆け上ったり滑ったり楽しそうに歓声を上げています。この学校環境緑化モデル事業の中

で最も苦労したのが池の造成です。その分、保護者と先生と子どもたちのいろいろな思いがいっぱい詰まっており、絶え間なく流れる



水が真夏の校庭に涼を呼び、鯉やメダカといっしょに憩いの空間が醸し出されています。



あと、校庭の周辺に植えたコナラ、シラカシが小鳥の憩う高木になるのはまだ先のことですが、キウイ棚のキウイが甘い実をつけるようになるのは、あと2・3年先のことかとみんなで期待しています。

何はともあれ、緑化された豊かな学校環境の中で、子どもたちがさらにさらに明るく元気に育っていくことを願っています。

平成21年度用 国土緑化運動・育樹運動の 標語、ポスター原画を募集しています

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般国民の緑化思想の高揚を図るため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集しています。

標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであって、創作に限ること。

応募方法：ハガキに住所、氏名、職業（学校） 標語を記載して応募する。

締め切り：平成20年9月30日（火）

その他：入賞作品の著作権は、社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

国土緑化運動及び育樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて修正を加えることがある。

応募先：社団法人鳥取県緑化推進委員会

樹木の名前を覚えて 木と仲良しになろう

樹名板設置事業

樹木に親しみ、樹木を大切にする心を養うため公園、学校等の公的な場所の樹木に県産材の樹名板の設置を行っています。

平成19年度は15箇所、367樹種614枚の樹名板を取り付けました。

子どもたちが名前を覚えながら取り付け、江府町江尾小学校から感想文が寄せられましたので紹介します。

「木の名前つけ」

江尾小学校 藤田日菜さん

今日、木の名前をつけました。いろんな木があつてびっくりしたし、どれがどの名前なのか分からなくなっていました。

初めにまつの木の所の名前つけをしました。かわった名前の木や花があったので、おぼえきれませんでした。

次にうらやまの方に行きました。サクラやモミジがありました。私は思わず「いっぱいある~」といつてしましました。だって、あちこちにあるのです。

次に、プランコがある方に行きました。ここにもいっぱいの木がありました。似ている木もありました。

またいろんな木を見たり名前をつけたりしたいです。やっぱり花に名前をつけたりするのはおもしろいし、知らないことも知れるので、またしたいと思いました。

「木に名札をつけたよ」

江尾小学校 山口珠美鈴さん

今日、木とか花に名札をつけました。私は、サツキツツジというのをつけました。最初ひもが短かくてつけられなかったけどひもをかえたらつくれました。

みんなのつけた名札をみるといっぱいあって私が知らない木や花の名前がありました。私のつけた名札もわからなかかったです。私はいっぱいこんな名前があるなんて知らなかったから「すごい。」といつたり「こんなにあるなんて知らなかった。」とかいろいろ言いました。

でも私は、ありすぎてどれがどんな名前か見たけどおぼえられませんでした。でも、2つぐらいはおぼえられました。その名前は、自分がつけた名札のサツキツツジと名札をつけていないけどポプラという名前を覚えました。

また見るときは、ぜんぶおぼえたいです。



平成19年度樹名板設置事業実績

市町村	設置場所	樹種数	設置枚数
鳥取市	久松山	38	100
若桜町	河川公園	10	10
倉吉市	関金小学校	49	118
琴浦町	釣保育所	4	10
琴浦町	東伯小学校	2	9
琴浦町	成美小学校	54	61
琴浦町	浦安小学校	18	21
琴浦町	八橋小学校	48	70
伯耆町	溝口小学校	20	20
伯耆町	日光小学校	17	17
伯耆町	日光小学校添谷分校	6	6
大山町	大山青年の家	22	31
大山町	大山オオカタの森	47	100
江府町	江尾小学校	25	32
江府町	俣野小学校	7	9
合 計		367	614

緑の募金事業

森林づくりの促進事業を実施して

日野川源流「森の再生」プロジェクト

米子ロータリークラブ

社会奉仕委員長 塩谷 吉正

米子ロータリークラブは、奉仕事業の一つとして「町にみどりを！」をテーマに1954年から52年間、米子市内に植樹・ツツジの手入れ等を継続して参りました。

年々というより、日々進んでいる地球環境悪化の深刻さを考えるとき、もっと広い範囲での地域、そして森～川～海のつながりにおける自然環境の重要性を認識すること、地球規模での深刻な環境問題に対し、一人ひとりの意識を高めていくことが重要であると会員一同決意をいたしました。

平成19年11月日南町神戸上の農地荒廃地と成績不良植栽地において第1回「森の再生」事業をスタートさせるにいたりました。

そして今年5月18日、昨年の隣接地において「森の再生」第2回目を実施しました。



当日は絶好の奉仕作業日和、まずは好天に感謝…。

作業は、平成17年度に県植樹祭で植えた苗木の下草刈り・添え木の設置、広葉樹を新たに100本植えました。 参加者は、米子RC会員・ご家族・ローターアクトクラブ会員・ボランティアの方々で、事前準備の草刈り・穴掘り作業を含めると延べ約100人の参加がありました。 年齢は5歳～80歳で幅広く参加があり、気持ちのこもった作業にとてもいい汗をかきました。 矢田日南町長から激励のお言葉を戴いたこと、地元の方から「作業の姿を見て感動しました。」と励ましの言葉を戴いたこと等、思ってもみなかつたご厚意に一同恐縮し、励まされ、嬉しく思いました。

参加各位の間には、気配り・思いやり・感謝の心が飛び交いとても充実した一日でした。

このたびの作業には、平成20年度緑の募金事業助成金を受け大規模な「森の再生」事業を行うことができましたこと心より感謝申し上げます。

一つしかない地球・世界中の一人ひとりが自覚を持って大切にしていきたいものです。

今後も「森の再生」事業を米子RCの意義ある継続事業として取り組む予定であります。



第54回鳥取県植樹祭の開催

第54回鳥取県植樹祭は、4月27日（日）に鳥取県、倉吉市及び本委員会の主催により、倉吉市関金町「木の実の里」において、「はぐくもう 木の実の里に みどりのめぐみ」をテーマに開催されました。

快晴の中、県下各地からみどりの少年団や県民の皆様約1,000名の参加を得て盛大に開催されました。

式典は、みどりの少年団105名の入場行進で始まり、主催者あいさつ・来賓紹介に続いて緑化功労者の賀露おやじの会（鳥取市賀露）三朝温泉かじか蛙保存研究会（三朝町）日野川の源流と流域を守る会（日野町）テーマ募集特選者の稻村雅彦さん（鳥取市）の表彰や倉吉市関金小学校みどりの少年団岸本 和さん、吉田桃子さん及び倉吉農業高等学校福井和代さん（倉吉市）の「森林・みどりへの想い」の発表などが行われました。

また、関金小学校、山守小学校3年生のダンス「EVER GREEN」（森を守ろう！イメージダンス）が披露され参加者から盛んな拍手が贈られました。

主催者、来賓等による代表植樹でスダジイ2本が植栽されたあと、参加者全員によりシバゲリ、トチノキ、イロハモミジ、ヤマザクラ、ナナカマド、ヤマボウシ合わせて1,000本の実のなる木が植栽されました。

アトラクションは、郷土出身の竹内克文ミニコンサートが上演され盛んな拍手が贈られました。

本委員会は、参加記念品としてハナミズキ、サザンカの苗木を先着600名に無償配布し、好評でした。



第59回全国植樹祭が秋田県で開催される

小西護郎（伯耆町）さん賞状授与されました。

（平成19年度緑化功労者の国土緑化推進機構会長賞）

平成20年6月15日（日）秋田県で開催された、第59回全国植樹祭において、平成19年度緑化功労者国土緑化推進機構会長賞を受賞されている小西護郎さん（伯耆町）に、今回植樹祭会場で賞状が授与されました。誠におめでとうございました。



記念植樹風景

小西護郎さんは、丸山生産森林組合長として、永きにわたり絶大なリーダーシップを発揮され、組合所有森林の多様な整備を推進するとともに、小中学生の森林・林業体験学習や森林シンポジウムを開催するなどして、広く青少年や県民に森林を守り育てることの大切さを普及啓発されています。



鉄永理事長（左）と小西護郎さん（右）

にわたり絶大なリーダーシップを発揮され、組合所有森林の多様な整備を推進するとともに、小中学生の森林・林業体験学習や森林シンポジウムを開催するなどして、広く青少年や県民に森林を守り育てることの大切さを普及啓発されています。

公募事業を募集しています

平成20年度の助成事業・交付金事業

事 業 区 分	事 業 内 容	助成対象者	助 成 額
緑の募金事業	森林づくりの促進	植林、下刈り等の森林の整備、森林での林業体験等	市町村、学校、各種団体等
	ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体が森林整備活動を行うための経費の一部を助成する。	森林ボランティア団体
	地区緑化の推進	地域の緑化及び地区住民の緑化意識の高揚・緑づくりを促進するためのイベントの開催	市町村、学校、各種団体等
	みどりの少年団活動推進（緑の募金）	通常の活動に加えて実施する自然・森林・緑に関わる学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団
	学校林等利活用促進事業	学校林等を活用した活動及び学校林等を活用するための森林環境整備	学校、学校教育を支援する団体
	国際緑化等の協力	樹木の植栽、保育等森林整備及び環境緑化の推進	市町村、各種団体等
	交付金事業（家庭募金等の6割を限度）	樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動等	募金実施団体
	喜寿記念樹の贈呈	県内に居住する昭和7年生まれの先着100名に紅梅の贈呈	昭和7年生まれ
森林基金事業	青少年・民間活動グループ育成	森林・緑化に関する各種イベントやキャンペーンの実施	5万、10万、15万、20万円の定額
	樹名板の設置	県産材を活用した樹名板の設置	当該年度の予算の範囲内
	木工工作キット配布事業	小中学校の児童・生徒に県産材を利用した木材キットを配布する	当該年度の予算の範囲内

おたより

昨年緑の募金事業を実施された地区より、おたよりが届きましたので紹介します。
有難うございました。

緑化の季節を迎え、貴委員会におかれましてはお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。
さて、昨年度、貴委員会の助成を受けて植栽しました八重桜に、この春早速花が咲きました。

数年先には、町内会の花見ができるように、大切に育てていきたいと思っています。
本当にありがとうございました。

貴委員会の益々のご発展を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

平成20年5月7日

鳥取市叶新町公園愛護会

会長 森本 政夫



事務局より

会員募集のお願い

社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展および国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口1万円以上

お問い合わせ先 〒680-8570 鳥取市東町一丁目220（鳥取県庁森林保全課内）
電 話：0857-26-7416
F A X：0857-21-6245
Emaiil：info@tottori-green.or.jp

新任の挨拶



4月1日よりお世話になっております。

事務局長 盛田幸男でございます。

地球温暖化、CO₂削減で環境緑化が取り上げられるなか緑化推進委員会の役目は重要と考えております。

今後とも宜しくご指導をお願いします。